

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4019	(H.24)No.	4019
-----------	------	-----------	------

事務事業名		交通安全施設整備事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		稲住和久	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	391001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	交通安全施設整備事業	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	交通安全施設費	交通安全施設整備事業	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>・安全で快適な通行を確保するために、道路反射鏡・防護柵・区画線等の交通安全施設を整備します。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>交通安全施設の整備により、安全な道路環境の形成に努めます。</p>
---	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]				
主な事業の実績・計画	・道路反射鏡 設置11基	補修12基	・道路反射鏡 設置10基		市が直接実施		
	・防護柵 設置42m	補修68m	・区画線 補修15,000m		業務委託(全部・一部)により実施		
	・区画線 設置	補修2,808m	・その他補修は随時		指定管理		
	・街路灯 設置	補修2基			補助金・交付金		
					その他 ()		
				平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
直接事業費	9,978千円	11,000千円	12,000千円	12,000千円	12,000千円	12,000千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他(繰入金)	4,000	11,000	4,000	1,000		
一般財源	(0) 5,978	0	8,000	11,000	12,000		
人工数	職員 0.14人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円) 1,022千円	1,095千円	1,095千円	1,095千円	1,095千円	1,095千円	
+ 総事業費	(0千円) 11,000千円	12,095千円	13,095千円	13,095千円	13,095千円	13,095千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	交通人身事故の発生件数	-	-	-	-	410
	実績		432	429	417	459	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
市道のセンターライン等消えている箇所が沢山ある。またカーブミラー設置要望も沢山あり予算面に対応しきれていない。	引き続き、安全な交通環境を確保するために交通安全施設の整備を進めます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財源状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮し整備を進めていく。	高齢化が進み交通事故件数も減らない現状の中で、交通安全施設整備の要望は多い。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	・幹線道路の街灯整備(川西・梅が丘) ・交通安全施設の整備促進(桔梗が丘)
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	要望箇所については今後地元自治会等と調整を行い検討していく。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項
要望が沢山あり現予算では処理しきれず、年々未処理分が増えている。